

# コミュニティ・スクールへの意見書

～子どもたちの未来に「とって」 地域の将来に「とって」 を共通理解に～

令和6年8月2日  
所沢市社会教育委員会議

所沢市社会教育委員会議では、所沢市内小中学校で進められているコミュニティ・スクールについて、審議してまいりました。コミュニティ・スクールが進められていくことで、子どもたちの未来と地域の未来が充実したものとなることを期待して、下記のとおり所沢市教育委員会へ意見を提出いたします。

## 1. 社会教育分野との連携協働

学校評議員、安全安心な学校と地域づくり推進支部会議に出席している各種団体（自治会役員・民生児童委員・青少年育成推進委員・PTA役員）など、すでに地域で活動する団体にコミュニティ・スクールを理解してもらうことが大事である。学校とつながりのある団体だけでなく、公民館が持つネットワークともつながり、様々な団体にコミュニティ・スクールへの理解を広げる取組を行うことで、今まで以上に地域と共に歩む学校づくりを進めていくことにつながっていく。

また、地域の子どもたちのために何かしたいと考える人を発掘し、各地域の実情に応じた適切な人材を育成し、活用することも求められる。公民館や社会教育行政とも連携協働しながら人材育成を図ってほしい。

## 2. 学校・地域・保護者の関係性

学校、地域、保護者が双方向で協力できるバランスの良い関係で運営が行われることが大事である。三者のバランスが崩れてしまうと、効果的な熟議も行われず、負担感ばかりが増えてしまい、コミュニティ・スクールの活動が停滞することや活動自体が目的化してしまうことにつながってしまう。行政の伴走支援を通じて、三者間のバランスを整える事、目標や課題の共有を図る事ができる体制を整えてほしい。子どもたちを取り巻く環境や課題解決のために何ができるのかを考え、実際の活動につなげていくためにも、委員の選定から熟慮いただき、学校、地域、保護者で目標を共有して、同じ方向を向き取り組めるよう進めてほしい。

## 3. 地域の未来も念頭に

地域に根付くコミュニティ・スクールとなるように、時間をかけてでも多くの方が関わりながら、地域学校協働活動と一体的に取り組みを進めてほしい。地域の文化、教育力を掘り起こし、広げ、子どもたちに継承していくことや子ども・学校の課題や目標だけでなく、地域の課題や未来像も共有し、地域づくりにもつなげてほしい。地域が学校に参画するだけではなく、学校側も地域に出て活動を進めながら、子どもたちにも意見を聞くなどして、コミュニティ・スクールを通して、子どもたちも地域住人の一人であることの意識付けを行ってほしい。

## 4. 支援体制の充実を

コミュニティ・スクールが地域の実情に応じ、持続可能な取組となるよう、既存の取組や団体等からの意見等を広く活かし各コミュニティ・スクールへ助言する、横断的で継続的な支援体制が重要である。支援体制を早急に整え活動を推進してほしい。